



ヨコハマ想い vol.146

全ての音に愛を込めて
高木凜々子

ヴァイオリニスト

高木 凜々子さん
Takagi Ririko

1996年生まれ、横浜出身。3歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学在学中にバルトーク国際コンクールで第2位及び特別賞を受賞し国内外から注目を浴びる。その他シュロモ・ミンツ国際コンクール第3位、東京音楽コンクール第2位及び聴衆賞など、国内外の著名なコンクールで多数の受賞歴を誇る。これまでソリストとして読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ハンガリー国立交響楽団セグドなど、国内外のオーケストラと共演。精力的にソロリサイタルを行うほか、YouTubeチャンネルの登録者数が11万人を超えるなどオンラインでも幅広くヴァイオリンの魅力を発信している。公式サイト<https://www.ririkotakagi.com/>

3歳で始めたヴァイオリン

3歳の時に青葉区に越してきました。両親ともに読売日本交響楽団のヴァイオリニストだったので身近に音楽がありました。ヴァイオリンを勧められたことはありませんでした。厳しい道であることを知っていたからでしょうね。ヴァイオリンは自分から進んで始めました。2歳の時、近くに住んでいた祖母の家で壊れたヴァイオリンを、私がギーコギーコと弾いていたそうです。3歳から先生について本格的にヴァイオリンを始めましたが、練習は1小節間違えたら100回繰り返すなど、とても厳しいもの。人前で弾くのは大好きでも、練習は好きではありませんでした。そんな私を見て両親から「練習が嫌ならヴァイオリンを止めて勉強するか、

ヴァイオリンを続けるか。どちらを取るか自分で決めなさい」と迫られました。小学4年生の時です。迷わずヴァイオリンを選びました。

小学1年からコンクールに出場していたので、放課後や土日もレッスンがあり、運動会などの学校行事にほとんど参加できませんでした。それでも地元の奈良小学校の同級生たちは「凜々子ちゃん、頑張ってるね」と励ましてくれましたし、コンクールで賞を得た記事が新聞に載ると自分のことのように喜んでくれて。その姿を見てもっと頑張ろうと思いました。恵まれた環境で小中学校生活を送れたと感謝しています。

お客様の前で弾く喜び

私にとってヴァイオリンの魅力は、旋律を思う存分歌える楽器ということ。特にヴァイ

国内外の権威ある数々のコンクールで優秀な成績を収めたのち、ソリストとして国内外のオーケストラと共演する横浜出身のヴァイオリニスト、高木凜々子さん。その力強くも繊細な音色と圧倒的な表現力は聴く人を魅了し続けている。11月に横浜みなとみらいホールで読売日本交響楽団と共演する高木さんに、これまでの歩みや音楽への情熱を伺った。

オリンの高音域の響きが好きなんです。また、ヴァイオリンはまるで人間のよう。午前中に弾くと音がまだ寝ていますし、午後になってやっと調子が出てたりする。私が使わせていただいているストラディヴァリウスは特にそうだと言われています。そんな楽器と付き合っていくのもヴァイオリニストの醍醐味と言えます。

演奏する時は、お客様にどういう音を届けたいかという点を第一に考え、突き詰めています。コロナ禍の時、無観客でYouTube収録をすることがあったのですが、お客様がいない状態で弾くのと、いる空間で弾くのとでは演奏の表現が全く変わるんです。私は、自分の感情はもちろんのこと、作曲者の想いや譜面に書かれているメッセージも含めてお客様にお届けしたい。お客様と音を共有できる空間を楽しみたい。コロナ禍を経て、一層その想いが強くなりました。

SNSにも注力

「高木凜々子ヴァイオリンチャンネル」というYouTubeチャンネルを開設して10年。基本的に水曜日と土曜日に配信しています。きっかけは2015年に「関ジャニ∞のTheモーツァルト音楽王No.1決定戦」というテレビ番組に出演して優勝したこと。日本中からTwitter(現X)に反響があり驚きました。SNSなら全国の皆さんに演奏を届けられるし、交流もできると積極的にSNSで発信しています。演奏会で終演後にサイン会をすることもありますが、「YouTubeを見て初めてクラシックのコンサートに来ました」というお声をいただくとやっとなかなかいいと思います。病気などでコンサートに来られない方もYouTubeなら楽しめる。「生きる希望になりました」「癒されました」というコメントをいただくと嬉しくて、大きなモチベーショ

ンになっています。

クラシックを気軽に楽しんで

11月にみなとみらいホールで行われる読売日本交響楽団の演奏会に出演します。共演するのはこれで2回目。7年前、若手ソリストが出演するプログラムで出させてもらったので、今回、成長した姿をオーケストラの皆さんやお客様にお見せしたいと思っています。演奏するのはチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲。チャイコフスキーは多くの作品を残しましたが、ヴァイオリン協奏曲は1曲しか書いていないんです。それだけ作曲家の想いが強い曲だと思いますし、技巧的にも難しい。特に第三楽章の終わりのヴァイオリンソロとオーケストラがクライマックスに向けてそれぞれ弾く部分は、技巧的かつとても盛り上がるので、皆さんにもぜひその華やかで情熱的なフィナーレを楽しんでいただきたいと思っています。

クラシックのコンサートは敷居が高いと思われるがちですが、クラシックはコンビニエンスストアでも流れている。案外日常的なものですし、もっと気を楽にして聴きにきていただければ。読響さんと私が奏でる、その時にしか聴けない音楽を生で堪能していただけたらと思います。お待ちしております。

読売日本交響楽団 ～情熱のチャイコフスキー&ブラームス～

11月17日(火)14時開演
横浜みなとみらいホール
S席6,500円、A席6,000円、B席5,000円(全席指定)
指揮 藤岡幸夫 ヴァイオリン 高木凜々子
◆チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲
◆ブラームス:交響曲第1番

8月一般発売に先駆けて、LINE友だち先行予約開始(下面参照)

簡単登録で
おトクが
いっぱい!!

よみうりselect
by SHONAN YOMIURI

LINE

公式アカウントがスタート!
友だち募集中!!

読売日本交響楽団
～情熱のチャイコフスキー&ブラームス～

LINE友だち先行予約

★11月17日(火)14時開演
横浜みなとみらいホール S席6,500円

※先行予約はS席のみとなります。※チケットのお届けは9月中旬予定

期間限定
6/5~15

合計300名様
総額80万円

豪華賞品が当たる!
プレゼントキャンペーン
実施中! 初回登録限定

賞品はホテル宿泊券やお食事券、レジャー施設のご招待券など!

★東京ドーム巨人戦エキサイトシート
★ヨコハマ グランドインターコンチネンタルホテルランチbuffetご招待券
★読売日本交響楽団コンサートin横浜みなとみらいホールご招待券
その他

応募締切 7月31日(金)まで!

LINE登録は
こちらから